

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 書写 (1 / 2 枚目)

調査の観点	発行者名 東京書籍	学校図書	三省堂
<p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) ・硬筆・毛筆共に、入門期の指導が丁寧である。 ・毛筆の学習は、穂先を意識させるように工夫されている。 (2) 各教材ごとのめあては明確に示されていて、毛筆は書体も大きくて分かりやすい。 (3) その学年で学習すること以外に、これまで学習したことが分かるように第1学年から通してまとめている。 (4) 低学年ではシールの活用を取り入れて関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) ・入門期のひらがな指導で1ますを4つのボックスに分けて、文字の指導を整える指導を強調している。 ・第3学年の毛筆指導はいきなりたて画と横画の入った「十」の指導から始まっていて、きめ細かさが足りない。 (2) 第2～6学年まで、最初に「学習に生かそう」最後に「生活に生かそう」のページがあり、書写を児童の学習と生活に結び付けて運動させているのがよい。 (3) 内容が多すぎず、硬筆はなぞりや書き込みの工夫がされている。 (4) 低学年には、絵かきうたやゆうびんごっこなども取り入れて意欲・関心を高めている。</p>	<p>(1) ・第1・2学年では書き込みができるものが増えていて、すっきりしている。 ・入門期の姿勢、鉛筆の持ち方、線引き遊びが取り組みやすい。 (2) 各教材ごとのめあては明確に示されていて、書体も大きくて、分かりやすい。 (3) 第3学年の毛筆指導は、筆のほぐし方や水につけてみるやり方等、初めての毛筆指導を配慮して丁寧である。ただ、手本が多すぎる。 (4) 何をするのか簡潔に記述してあり、分かりやすいが、児童の意欲・関心を引き出す工夫は少ない。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) 発展的記述は多いが、内容が多く構成も複雑。 (2) 全体的に分量が多い。 (3) ・どの学年も「かきぞめをしよう」という共通課題と各学年の発達段階に応じた「せいかつに広げよう」という課題が設定されており、学んだことを生活に生かせるように工夫がされている。 ・伝統的言語文化に関する文が取りあげられている。</p>	<p>(1) 第1学年の書写指導が、ひらがな・漢字・カタカナの順になっているが、漢字の前にカタカナがよい。 (2) 低学年の指導に書き込み式が多く、使いやすい。 (3) 「生活に生かそう」のページがどの学年にもあり、学んだことを発展的に生かせるように工夫している。</p>	<p>(1) 基本的技能については段階を追って押さえてある。「広げよう」という教材で生活に生かそうとするページがあるが、内容が分かりにくいものもある。 (2) ・手本の数がとても多い。 ・使い方に配慮が必要。 (3) 第5・6学年では、「学習のまとめ」のコーナーで、学んだことを総合的に生かすよう指導している。しかし、全体的に補充教材や発展的な記述が他社に比べ少なく、生活に生かす部分の記述が物足りない。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1) ・第3学年以上の学年は、1ページの中に内容を詰め込みすぎているため、文字が細かく説明が読みにくい。 ・第5・6学年の目次のページの絵は、高学年にはふさわしくない。 (2) 写真は少なめで、イラストを活用した説明が多い。ただ、手本の文字の下のイラスト等、不要なイラストもある。</p>	<p>(1) ・「筆はかせ」がポイントを押さえていて、分かりやすい。 ・第1学年の最初の「せんひき遊び」は図が小さすぎて書けない。 ・巻末の漢字は、筆順が番号だけで表記され、それも非常に小さく、分かりにくい。 (2) ・写真・挿絵がすっきりしている。また、表紙が、文字を使ったデザインで統一され、工夫と書写に対するこだわりがある。 ・毛筆の手本が半紙を使った実際の大きさになっていて、字の大きさ・太さが指導しやすい。</p>	<p>(1) ・レイアウトがすっきりしている。 ・最低限の説明になっていて、学ぶことに目がいくように工夫されている。 ・書き込める教材が多い。 (2) ・写真や挿絵が少ない。 ・シンプルで、色づかいも少なく、落ち着いて取り組めるよう配慮されている。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1) 目次を見ただけでは、具体的な内容が分からず、イラストの印象が強すぎる。 (2) 教材ごとに、その学習に対する振り返りのコーナーがあり、既習事項を確認しやすい。 (3) 印刷・装丁は特に問題はない。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p>	<p>(1) 目次は分かりやすい。 (2) 第3学年以上には、冒頭の部分に、「毛筆学習の進め方」が提示されていて、課題解決に向けた学習の流れが分かるように配慮してある。 (3) 印刷・装丁は特に問題はない。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p>	<p>(1) 目次の中で学習内容・目標が分かるように工夫されている。ただ、第1学年の目次は最後のページになっていて分かりづらい。 (2) 学習のポイントが短い言葉でまとめられていて、分かりやすい。 (3) 印刷・装丁は特に問題はない。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) 「振り返りのコーナー」や「まとめ」もあり、きめ細かに説明されているが、発展的な課題・内容が多く、書写の分野から広がりすぎている面もある。そのため、指導及び学習活動のねらいがぼやけてしまわないよう配慮する必要がある。 (2) 内容が多く、雑多感があり、使用するに当たっては、他教科との関連や授業時数を配慮した精選等の考慮が必要である。</p>	<p>(1) ・指導の流れに工夫があり、手本・内容も充実している。 ・児童の発達段階を考慮した書き込みや目標が分かりやすく、全体的によく考えられている。 ・入門期の毛筆指導に難がある。 (2) 一部表記の面で見にくい部分もあるが、内容・分量・発展教材の取り扱い等、全体的に充実しており、使いやすい教科用図書である。</p>	<p>(1) 書写の学習を生かしてお互いに伝え合い、自分たちの生活に広げようとする内容は他社に比べて少ないが、手本の多さも含め、文字を整えて書くということにこだわった教科用図書である。 (2) 他社に比べて手本は多いが、補充教材・発展教材が少なく、習得した書写力を日常生活に生かす「書写力の定着」という面が弱い。</p>

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 書写 (2 / 2 枚目)

調査の観点 発行者名	教育出版	光村図書	日本文教出版
<p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) ・入門期のひらがな指導では、1ますを4つの部屋に分けて指導し、ていねいである。 ・毛筆入門期の指導も横画から縦画へと順を追って指導し、力の入れ方などにも配慮している。 (2) 学習のめあてが分かりやすく示されている。 (3) 発展としての事例が分かりやすく取り入れられている。 (4) 学年に応じてキャラクターを変え、児童の関心を引き出している。</p>	<p>(1) ・入門期のえんぴつの持ち方、姿勢、そら書きなど、段階を追って細かい配慮がなされている。 ・毛筆の入門もていねいである。 (2) 各学年のめあてが具体的に示されている。 (3) ・キャラクターを使うなどして、注目させたいところへ目が向くよう工夫されている。 ・手紙の書き方や漢字教室へと発展させている。 (4) 昔の文字や世界の文化を紹介したりして、児童の興味を引き出す配慮がある。</p>	<p>(1) ・入門期のひらがな指導は、ワークとして直接書き込めるようになってきている。 ・字の大きさや発達段階を押さえた指導に配慮が見られる。 ・第3学年の入門期では、毛筆に慣れるため、筆の性質を試す指導を多く取り入れている。 (2) 各学年の目標や教材のめあてが示されている。 (3) 第3学年の毛筆指導は絵の具で色を付けて、穂先の通り道や筆使いに配慮している。 (4) 挿絵が親しみやすく、また、自己評価をする欄を取り入れて意欲を高めている。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>	<p>(1) 各教材の後に、「トライアンドチャレンジ」として教材に関連した発展的教材が示されている。 (2) 他社に比べ、硬筆が多めに入っている。特に第3学年の硬筆の量が多いが、段階的に学ばせるようになっている。 (3) 各学年「書いて伝えよう」で新聞・招待状・読書カード・卒業文集の書き方など、発展教材が盛り込まれている。</p>	<p>(1) ・「伝え合う活動」「読書活動」が書写の時間にもその力を養うことができている。 ・第3学年以上では、「学年で習う漢字」に硬筆・毛筆の両方が併記されている。 (2) 低学年は分量的にすっきりしているが、高学年では、手紙・メモ・ポスターなど、多くの内容が盛り込まれ、使いこなせない部分がある。 (3) 高学年は、発展的で分かりやすい資料が、たくさん盛り込まれている。見本も提示されていて指導しやすい。</p>	<p>(1) 「行書で書いてみよう」というページがあり、児童の興味・関心を高めている。 (2) 分量は無理なくちょうど良い。 (3) ・「生活に生かそう」のページでは、ノート、絵日記、作文、ポスター等、国語の学習と関連付け、分かりやすい。 ・高学年では、発展教材として、親しみやすい古典を取り入れている。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>	<p>(1) 見やすく読みやすい表現になっている。 (2) ・挿絵が発達段階に応じて筆者が違って、工夫されている。 ・第1・2学年は、「えんぴつの持ち方・手のおき方」、第3学年以上は「えんぴつの持ち方・筆の持ち方」の写真が裏表紙にあって良い。</p>	<p>(1) ・高学年は、全体的に内容が多く説明も多いため、やや見にくい部分もあるが、内容的にはいいに扱っている。 ・手本の字も大きく見やすい。 (2) 硬筆・毛筆の入門期の指導が筆圧や筆の運びを写真やイラストを使って説明し、分かりやすい。</p>	<p>(1) ・全体的に見やすく、すっきりしている。 ・筆使いを示すために緑色を使用しているのは、分かりやすい。 (2) ・写真・挿絵が分かりやすい。 ・各学年とも「筆使いのまとめ」のページがあり、学習した文字の穂先の通り道が2色刷りで、分かりやすく表示してある。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>	<p>(1) 目次がすっきりしていて、何を学ぶのか一目で分かるようになっている。 (2) 「めあて」「考えよう」「振りかえろう」が示されていて、学習が進められやすいように配慮されている。 (3) 印刷・装丁は特に問題はない。 (4) 第3学年「はがきの書き方」で、宛名の例として「八王子市台町」がある。</p>	<p>(1) ・目次はそれぞれの学習ごとに色を変えて工夫しているが、かえって見にくい感じもある。 ・学習の見通しとして、第4学年以上の巻頭に「書写パーク」が載せてあるが、難解である。 (2) ?マークを使って疑問を投げかけ、問題意識をもてるよう配慮している。 (3) 印刷・装丁は特に問題はない。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p>	<p>(1) 目次が見やすく、自己評価ができるように工夫されている。 (2) ・オーソドックスに「字を整えて書こう」ということに焦点を当てて編集されている。 ・最初のところに「学習の進め方」としてまとめてあるが、課題解決に向けた学習を効果的に進めていくというような配慮は特にない。 (3) 印刷・装丁は特に問題がない。 (4) 特に地域性への配慮は見られない。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) ・入門期の4つの部屋は分かりやすく、また、毛筆指導と硬筆指導を関連付けて指導してある。 ・「書いて伝えよう」が各学年にあり、伝え合いを意識している。 (2) ・学習内容が適切に配置され、分かりやすい説明と課題意識を育てる工夫がされている。 ・児童にとっても教師にとっても使いやすい教科用図書である。</p>	<p>(1) 入門期の学習内容がしぼられていて指導しやすい。また、高学年では、発展的資料が多く、指導の参考になる。 (2) 現在、八王子では光村図書の教科用図書を使用しているが、新教科用図書は、現行のものに比べ、かなり改善されていて使いやすい。</p>	<p>(1) 書写という観点で考えると、文字を整えて書くというポイントを押さえて、分かりやすい。ただ、他社と比べ、発展的な課題の取り扱いが若干弱い。 (2) 発達段階を考慮し、それぞれの学年にふさわしい内容と構成になっていて、使いやすい。</p>